

市議会だより

すながわ



第179号
令和8年2月1日

議 会 懇 談 会
砂 川 市 議 会



路線バスの滝川 奈井江線廃止について

公正会・
市民の声連合

沢田 広志

問 北海道中央バスが運行している滝川奈井江線の路線バスが、令和8年9月30日の運行を最後に廃止されるようですが、廃止に至る経緯、住民への影響や今後の対応等、市の考えを伺います。

答 北海道中央バスから乗務員確保が困難な状況が深刻化し、運行便数の見直し・削減を行わざるを得ず、利用状況やJR函館本線が並行している沿線環境も鑑み、路線廃止を検討するに至ったとの説明を受け、令和7年11月の社会経済委員会でも報告しました。

また、市内を運行している路線バスは、「滝川奈井江線」のほか、「歌志内線」を沿線自治体で協調して運行収支不足額に対する支援をしています。たとえ資金的支援が強化されても、厳しい状況と伝えられています。

廃止の影響ですが、北海道中央バスが実施した10月の乗降調査では、利用の少ない便では滝川奈井江間での利用者が1名であり、



中央バス滝川奈井江線バス停留所

通勤等の利用者が多い便では23名となり、平日・休日や時間帯で利用状況に大きな差が見受けられます。「滝川奈井江線」は、沿線市町間での移動、市内での乗降も相応にあり、一定程度路線廃止の影響はあると考えています。

今後の対応及び市の考えは、バス路線は地域公共交通を支える要素の一つで、沿線住民の利便性が失われることがないよう、本市・奈井江町・滝川市の沿線市町、北海道空知総合振興局等で構成する検討会議等で対応協議したいと考えています。

乳幼児支援について

日本共産党

高田 浩子

問 砂川市の乳幼児支援の内容について伺います。

答 1歳6か月健診・3歳児健診・子育てに関わる相談支援などを進めています。また、市独自の事業としては、保育所・幼稚園等の保育における負担軽減事業や子育て関連用品購入に利用できる「乳児すこやか応援クーポン券支給事業」（乳児1人あたり最大6万円）や北海道子ども国保税施設（保護者入園料が無料となる「ふしぎの森利用料無料クーポン券」支給事業）などを実施しています。

問 乳幼児支援に関わる周知について伺います。

答 事業・制度などを集約した「子育て支援のしおり」を毎年作成し、転入届・出生届の提出の際に市窓口で手渡しするほか、ホームページでの周知、子ども家庭センターでの案内、母子手帳アプリで情報を閲覧できる等環境を整えており、事業実施の際は対象世帯に案内・周知しています。

問 チャイルドシート・ベビーベッド・ベビーカー等の乳幼児用品の貸出しについて伺います。

答 チャイルドシートについては平成12年から市民から提供を受け、現在は5台を保有しており、6か月を限度に年間15件程度貸出しています。乳幼児用品の貸出しについてもニーズを把握し、今後も子育て支援に努めていきます。

問 高校生懇談会で要望があった乳幼児用品の貸出しについて、まずは、費用の一部助成を要望します。



ほかに「ヒグマ出没時の対応について」質問しました。

ヒグマ出没時における 情報連携等について

公正会・
市民の声連合
武田 真

問 市内ではヒグマの出没が相次ぎ、小・中学校では休校や送迎対応がされました。一方、砂川高校には市外から通う生徒も多く、地理等の知識が十分ではなく危険にさらされるリスクがあります。

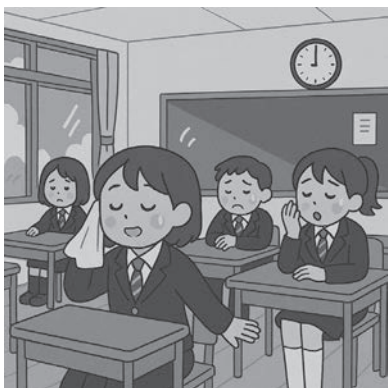
そこで、小・中学校の対応の総括と高校との情報連携の現状等について伺います。

答 小・中学校での対応については、文部科学省の通知を踏まえ、関係機関との危機管理体制は図られたと考えますが、見守りを行う教職員の安全確保にはどのような方策が可能か検討していきます。

高校との情報連携は、教育委員会で情報の一元化を行い、各校の校長等で構成されるライングループで情報連携をしています。

問 高校入学時のオリエンテーション等の場で生徒等にも説明が必要ではないか伺います。

答 出沒等の情報を蓄積したものがありますので、それらを整理した中で情報連携をしていきます。



砂川高校の学習環境 等の改善について

問 砂川高校では、近年の猛暑により学習環境が悪化しています。

空調設備の不足は入学者確保にも関わる課題です。支援強化に向けた考え方について伺います。

答 高校とは、情報共有を図り状況を把握しています。現状の設備では効果が限定的であることから運用の工夫が必要であり、快適で安全な学習空間を確保できるよう今後も高校と連携していきます。

砂川高校への支援について

公正会・
市民の声連合
小黒 弘

問 砂川市議会は議会懇談会として砂川高校の2年生43名と懇談を行いました。とても積極的で前向きな意見が出されました。

「制服への補助」「タブレット購入への補助」について伺います。

答 支援する事業メニューとしては、あくまでも教育という理念に立脚し、福祉的な要素が含まれるものとは区分しながら支援しています。制服購入は支援項目の対象とはしていません。

また、タブレットの購入支援につきましても、学習意欲につながるものや技術や技能といった将来にわたり役立つものを支援メニューとしていきますので、支援の対象ではありません。

問 砂川高校は市外から通学する生徒が多く、通学時の交通費が負担になっているようです。交通費への補助について伺います。

答 通学に係る支援については、福祉的な要素として捉えております。また、市外在住の生徒の家計

状況が把握できないことから交通費については支援の対象としていないところです。

問 砂川市は毎年約800万円の支援を予算計上していますが、半分ほどしか使われていません。学校側とニーズの調整はどのように行っているのか伺います。

答 これまでは校長、教頭先生と協議をしてきましたが、支援の考え方や内容などを教職員や生徒の皆さんに周知するため、その方法を学校と協議しながら市の支援を有効に活用していただきたいと思います。



人口減少対策について

創生会

石田 健太

問 全国的に人口減少が進む中、近隣自治体と定住人口を取り合う競争は、地域全体で見れば「ゼロサムゲーム」であり、縮小均衡に陥る懸念があると考えます。

単に人口の「数」のみを追うのではなく、観光に來た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」を活用し、砂川市の未来を共に創ってくれる「知識・経験・意欲」を持った人材をいかに増やすかという「質」の向上を目指す視点が必要と考えます。

そこで、関係人口活用への市の考えについて伺います。

答 国が創設する「ふるさと住民登録制度」は、将来的な担い手確保に繋げるとしており、市としても各所で人手不足が深刻化する中において、本制度をどういった事業で活用できるか検討していきたいと考えています。

問 外部スキルと地域課題をつなぐ仕組みについて伺います。

答 民間企業の社員を自治体プ

ロジェクトに従事してもらう等「地域活性化企業人」制度や「人材派遣型企業版ふるさと納税」など、これらの制度の活用において当市にマッチングする事業があるのか等、今後、調査・研究します。

問 新たな成果指標の導入について伺います。

答 地域への貢献度を数値で可視化することは、関わる人のモチベーション向上やシビックプライドの醸成に繋がります。「知識・経験・意欲」をもつ人材の活躍状況を測る指標は一定程度必要であると考えています。



マイナ保険証の全面移行に伴う対応について

創生会

伊藤 俊喜

問 令和7年12月1日に従来の健康保険証はすべて有効期限が切れ、翌2日から廃止になりました。ただし、令和8年3月末までは全ての有効期限切れの健康保険証も条件付きながら使用できる暫定措置となっています。

制度の浸透や定着に向けて市民周知、窓口での支援など、砂川市の対応について伺います。

答 国民健康保険証の被保険者に向けては、年度更新を迎えるタイミングで「マイナ保険証は手続きなどなく引き続き利用できること」「マイナ保険証を利用できない方には資格確認書が送付されること」とについて、広報しながら等で周知するとともに、国からの周知依頼があれば随時対応をします。

問 今後は紙の保険証が利用できなくなるという暫定期間終了後の令和8年4月に焦点が移ります。資格確認書は市民に漏れの無いようにプッシュ型で発行していることから宙ぶらりんになる市民はい

ないと思いますが、トラブルが発生することが予想されます。また、令和8年4月以降にいざ医療機関に行ったときに、この制度の変化に気づかずに使えないというケースもあると思います。暫定期間の内から丁寧な市民周知を行っていく必要があります、どのような対応を考えているのか伺います。

答 広報やホームページで対応するとともに、保険証の関係で不安な方については、窓口に来られた際にはマイナ保険証の登録など、必要な支援を引き続き行っていく予定です。



スポーツによるまちづくりの推進について

創生会
山下 克己

問 砂川市では平成30年度に砂川市スポーツ推進計画を策定し、より具体的な施策の方向性を示し、目標達成のための取組みを推進していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大や様々な社会状況の変化に伴い、ますますスポーツを活用したまちづくりの推進が求められていると考えます。そこで、基本目標に係る現状と課題及びスポーツによるまちづくりに対する市の考えについて伺います。

答 本市の現状については、体力・年齢・目的などそれぞれの状況に応じたスポーツを継続しているほか、地域おこし協力隊によるトレーニング指導や教室の開催など市民の介護予防・健康増進を図っています。また、スポーツ団体活動への支援、指導及び運営に携わる方の発掘・育成・指導力の向上などの環境を整備しています。さらに、利用者の安全性確保や衛生的で快適な環境を提供し、適切に管理運営を行うため、大規模



改修や修繕を随時行っています。課題としては、市民が興味のある教室の開催や運動習慣のない方などへのきっかけづくり、人口減少・少子高齢化による団体数・所属人数の減少、指導者・運営スタッフなどの減少や高齢化によるスポーツ活動への影響、老朽化に伴う計画的な施設改修や改修経費の増大などが挙げられます。スポーツによるまちづくりには、幅広い世代において一人ひとりのスポーツに対する関心を高める必要があり、健康的で生きがいのあるまちを目指していく考えです。

議会を傍聴してみませんか！



本会議と委員会は、簡単な手続きでどなたでも傍聴することができます。本会議は、審議中も出入りすることが可能です。

議場で直接傍聴されると、より議会が身近に感じられると思いますので、多数の傍聴をお待ちしています。

なお、次回定例会は3月に開かれます。

○詳細 議会事務局(☎74-8796)

会議の開催状況

- (10月) 27日 社会経済委員会
議会運営委員会
28日 総務文教委員会
- (11月) 20日 総務文教委員会
21日 社会経済委員会
- (12月) 1日 議会運営委員会
8日 議会運営委員会
8日～11日 第4回定例会
11日 議会広報編集委員会
18日 第4回臨時会
25日 議会広報編集委員会
- (1月) 9日 議会広報編集委員会

行政視察受け入れ状況

- 11月18日
- 美唄市議会
- ・庁舎建設事業調査視察について

常任委員会の活動

常任委員会は定例会が開かれる月（3月・6月・9月・12月）以外に、毎月開催されます。今回は10月・11月の常任委員会質疑を取りあげています。

総務文教委員会の質疑 【10月28日、11月20日開催】

【行財政等について】

(10月)

- ★令和8年度職員採用登録試験の実施について(2委員)
- ★移住定住促進事業について
- ★産前産後休業・育児休業の取得状況及び復帰後の配置について
- ★国勢調査の状況について
- ★生成AIを活用した行政サービスについて

(11月)

- ★令和8年度職員採用登録試験について
- ★砂川市町内会連合会との懇談会の開催について
- ★ヒグマ出没時の対応に関する市職員の研修や訓練について

【市立病院事業について】

(10月)

- ★中空知地域医療構想調整会議について
- ★コンサルテーションの進捗状況と今後の予定について
- ★院内保育所について
- ★がん相談支援センターについて
- ★アピアランスケア外来の利用状況について
- ★AI搭載対話型がん相談サービス「ランタン」について
- ★「地域がん診療連携拠点病院」の指定要件について
- ★内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチXi」の利用件数について
- ★「砂川市病院事業障害者活躍推進計画」の実施状況について

(11月)

- ★経営収支状況について(10月分)
- ★コンサルテーションの進捗状況について
- ★中空知地域医療構想調整会議について

【教育行政について】

(10月)

- ★令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ★砂川市教育推進計画について
- ★第3回砂川市高等学校教育を考える会について
- ★スクールバスの体験乗車について
- ★砂川市立小中学校閉校後の校舎等の利活用について
- ★砂川市義務教育学校建設工事の進捗状況について
- ★学校給食における異物混入について
- ★ヒグマ出没時の対策について
- ★教職員の時差出勤について
- ★旧石山中学校校舎の解体計画の有無について
- ★児童・生徒の健康管理について

(11月)

- ★「砂川市教育委員会事務の管理及び執行の状況報告書」について
- ★第4回砂川市高等学校教育を考える会について
- ★砂川市義務教育学校建設工事の進捗状況について
- ★特別支援教室の教員・指導員について
- ★フリースクール出席回数を学校出席回数に反映させることについて
- ★図書館の図書閲覧スペースの活用について

社会経済委員会の質疑 【10月27日、11月21日開催】

【市民生活行政等について】

(10月)

- ★予約型乗合タクシーの利用状況について
- ★ヒグマ出没に対する対応について(3委員)
- ★国民健康保険料の納め方について

(11月)

- ★北海道中央バス滝川奈井江線について(2委員)

【保健福祉行政について】

(10月)

- ★砂川学園の開校に伴う学童保育所の保護者説明会の開催について
- ★国保特定健康診査について
- ★開業医誘致の状況について

(11月)

- ★定額減税不足額給付金の実施状況について
- ★砂川市要保護児童対策地域協議会代表者会議の開催について
- ★保育所入所定員数の拡充について
- ★要支援・要介護認定者数(10月31日現在)について

- ★開業医誘致に係る周知について

- ★他市で起きた障害者就労支援施設での事件について

【建設行政及び下水道事業について】

(10月)

- ★損害賠償請求事件に関する訴訟について
- ★JR砂川駅前広場の土地利用について
- ★市有地(宮川団地跡地)の分譲販売について

(11月)

- ★市有地(宮川団地跡地)の分譲販売について(2委員)

【経済行政について】

(10月)

- ★北海道電力砂川発電所廃止後の跡地利活用に
ついて(2委員)

- ★ヒグマの出没状況と対策について

- ★コープ札幌の新店舗建設の進捗状況について

(11月)

- ★砂川市内中小企業勤続従業員顕彰式について

- ★ヒグマの出没状況と対策について

令和 7 年 第 4 回砂川市議会定例会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第 1 号	令和 7 年度砂川市一般会計補正予算（第 4 号）	7.12. 9 原案可決
議案第 2 号	砂川市立義務教育学校施設使用条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 3 号	砂川市旧学校施設使用条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 4 号	砂川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12.11 原案可決
議案第 5 号	砂川市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 6 号	砂川市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 7 号	砂川市職員諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 8 号	砂川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第 9 号	砂川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	7.12.11 原案可決
議案第10号	砂川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	7.12.11 原案可決
議案第11号	砂川市学童保育条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
議案第12号	砂川市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12.11 原案可決
議案第13号	砂川市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7.12. 9 原案可決
7年3定議案第15号	令和 6 年度砂川市一般会計決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
7年3定議案第16号	令和 6 年度砂川市国民健康保険特別会計決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
7年3定議案第17号	令和 6 年度砂川市介護保険特別会計決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
7年3定議案第18号	令和 6 年度砂川市後期高齢者医療特別会計決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
7年3定議案第19号	令和 6 年度砂川市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
7年3定議案第20号	令和 6 年度砂川市病院事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	7.12. 8 原案認定
報告第 1 号	専決処分の報告について	7.12. 8 報告済
報告第 2 号	監査報告	7.12.11 報告済
報告第 3 号	例月出納検査報告	7.12.11 報告済

令和 7 年 第 4 回砂川市議会臨時会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第 1 号	令和 7 年度砂川市一般会計補正予算（第 5 号）	7.12.18 原案可決

市議会の様子をインターネット上で配信しています。

砂川市議会
事務局

住 所：砂川市西 7 条北 2 丁目 1 番 1 号
 電話番号：0 1 2 5 - 7 4 - 8 7 9 6
 E メール：gikai@city.sunagawa.lg.jp
 ホームページ：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/index.html



砂川高校の生徒と語る 「これからのすながわのまちづくり」

令和7年度議会懇談会を11月10日(月)に市役所4階議場で開催しました。

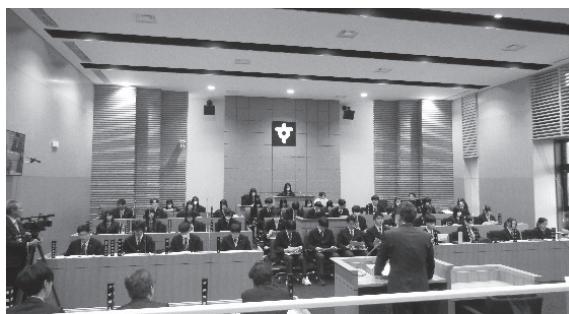
今年度は、砂川高校の2年生43名と「これからのすながわのまちづくり」について、子育て支援や観光事業、安全確保や砂川高校の支援など6つのテーマに分かれて懇談を行いました。

今回参加された砂高生の皆さんは、2年生の履修科目である公共(公民科)の授業の一環として、高校生らしい柔軟な発想や視点で積極的にまちづくりについて発言をしていただきました。誠にありがとうございました。

懇談会でいただいた貴重なご意見は、砂川市議会として一つひとつをしっかりと受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

テーマ

- Aグループ 医療・介護・高齢者
- Bグループ 子育て支援
- Cグループ 砂川高校の支援
- Dグループ 公共施設
- Eグループ 観光事業・イベント
- Fグループ 安全確保(災害・クマ等)



あ と が き

本年度の議会懇談会は、砂川高校2年生との懇談となりました。6つのグループに分かれ、様々な分野にわたる意見をいただき、第4回の定例会でもこの時の意見を基に質問を行う議員が多数いました。若者の前向きで明るい意見の数々に砂川の未来を重ね、大変貴重な時間となりました。参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

(山下)

議会広報編集委員会

委員長 鈴木 伸之 副委員長 高田 浩子 委員 武田 真 委員 山下 克己